

授業科目名 <英訳>	西洋史学(特殊講義) European History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 藤原 辰史					
配当 学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	水3	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	食と農の現代史										
【授業の概要・目的】											
とりわけ20世紀以降、食と農はどのように変化を遂げてきたのか？ ドイツと日本を中心に、食べものをめぐる制度や文化や技術の変遷を追う。この講義の目的は、現代史の知識を蓄えることではない。あるいは、現代史の概略をつかむことでもない。現代史を批判的に眺める目を獲得し、食と農の未来の構築するためのヒントを考えることである。											
【到達目標】											
現代史における食と農の変遷について理解し、現代社会の食と農の問題を広いパースペクティブでとらえることができるようになる。											
【授業計画と内容】											
以下の課題について、1週から3週かけて講義する予定である。											
1 食糧戦争としての第一次世界大戦											
2 有機農業の歴史											
3 毒ガスと農薬の歴史											
4 トラクターの歴史											
5 戦時期の農村女性たち											
6 食糧戦争としての第二次世界大戦											
【履修要件】											
前期の授業を受講しているものとして授業を進める。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
講義の終わり頃に筆記試験を課す予定											
【教科書】											
使用しない											
【参考書等】											
(参考書)											
池上甲一・原山浩介編 『食と農のいま』											
藤原辰史 『稲の大東亜共栄圏』											
藤原辰史 『ナチスのキッチン』											
藤原辰史 『カブラの冬』											
ポール・ロバーツ 『食の終焉』											
----- 西洋史学(特殊講義) (2)へ続く -----											

西洋史学(特殊講義) (2)

( 関連URL )

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~fujihara/>

**[授業外学習(予習・復習)等]**

食と農に関する新聞・雑誌記事を読んで、現代社会の食と農への関心を深めておくこと。

( その他(オフィスアワー等) )

後期は、11月末から海外出張の予定のため、途中で集中講義のスタイルに移行する予定です。詳しい日程は、あらためてお伝えいたします。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。